

令和4年司法試験 合格体験記

令和4年司法試験合格後中途退学（未修コース）堀川 慧二郎

15 期末修堀川慧二郎です。この度令和4年の司法試験に合格することができました。この場をお借りして、これまで支えてくださった家族、先生方、TAの先生、食事に連れて行ってくださった先生、資料室や事務の方、先輩、友人に感謝申し上げます。

試験対策としては、短期間で合格した優秀な先輩方や同期が助言してくださっていることを参考にさせていただきたいのですが、過去問に早く取り掛かる、授業・ゼミを大切に、条文を大切にする、本番を意識する、講評しあう、日本語を鍛えるなどを大事にしてもらえると良いと思います。観点は違うかもしれませんが、司法試験は出題範囲が非常に広い反面、その範囲をある程度の深さまで理解し覚えれば及第点が出ると思います。時間をかけてでも、量をこなすことで対策できる勝負であったことが私でも合格できた要因の一つに思います。

勉強量を確保する手段として役に立ったと思うことは、やっている方も多いかもしれませんが勉強時間を記録していくことです。司法試験に必要な勉強時間は1万時間ともいわれており、逆算すると1日に必要な平均勉強時間は8、9時間となります。1日の勉強時間を毎日記録し客観的な勉強量を把握することで、勉強時間を目安にモチベーションとすることもできるのではないかと思います。優秀な友人を見ていると自分が受かるのか不安になるときもあると思うのですが、総勉強時間から自分が今何合目にいるのかを把握することで、冷静に自分のペースを確認できることもあるのではないかと思います。

また、とりあえず毎日学校に来るだけでも友人から刺激を受けることは多いと思いますし、岡山大学法科大学院では授業やゼミのほか、自習室や資料室、オフィスアワーなど勉強できる環境が整っているので活用してほしいと思います。

実際の勉強の毎日は、地味な作業を延々地道に続けていくことになると思います。私は常に追いつかれ追い抜かれの日々で、迷う時もありました。ただ、勉強は足し算のように少しずつでも積み重なっていくとを感じるようになりました。自習室等で日々がんばっている方々は、体調には気を付けつつ、これからも自分のペースで進んでいってください。来年もう一度挑戦される方、後輩のみなさまも応援しております。

合格は道半ばだと思いますので、今後はこれまで得た知識・経験を生かして、研鑽を積んで参りたいと思います。